

**天栄村まち・ひと・しごと創生総合戦略
事業評価シート（令和２年度）**

重要業績評価指標（KPI）一覧表

基本目標1 安定した雇用の確保と地域産業力の強化

項目	取組状況	目標値	実績値	評価
企業立地や奨励金交付事業による村内新規雇用者数	雇用促進奨励金は、工場の敷地面積3,000㎡以上、もしくは建築面積1,000㎡以上のいずれかに該当し、かつ操業開始時に村内に住所を有している雇用者が5人以上で、引き続き1年以上継続して雇用していることが交付要件であり、1回限り1人につき20万円まで（1,000万円）まで限度である。 企業立地に向けて数社交渉を行ったが、令和2年度内の分譲とはならなかった。	15名 (R2～R6 累計)	0名	2 未達成（50% 未満）
固定資産税課税免除実施数	東日本大震災復興特別区域法及び企業立地促進法に基づき、事業者が事業のための施設又は設備の新設又は増設を行った場合の固定資産税の課税免除をしている。	15社 (R2～R6 累計)	5社	2 未達成（50% 未満）
新たな交流の場の創出	道の駅の機能を拡充し、道の駅を拠点とした交流機会の創出と地域経済の活性化を図るため、各種交付金、補助金を活用し、村の魅力である自然環境と調和した「てんえいふるさと公園」の整備に取り組む。	1件 (R6)	0件	2 未達成（50% 未満）
新規就農者数	長ネギ生産者1名が農業次世代人材投資事業補助金を活用し、認定新規就農者として認定され、支援している。	8人 (R2～R6 累計)	1人	2 未達成（50% 未満）
自立支援事業による相談、就労支援件数	平成27年4月に施行された生活困窮者自立支援法に基づく生活困窮者自立支援制度として、自立相談支援事業を実施。県から県社協への委託（本村担当窓口は県中・県南生活自立サポートセンター）。訪問支援（アウトリーチ）も含め、生活と就労に関する相談をワンストップ型窓口として機能している。	相談60件 (R2～R6 累計)	相談11件	4 ほぼ達成 (80%～99%)
		就労支援10件 (R2～R6 累計)	就労支援6件	

基本目標2 天栄村への新しいひとの流れの創出

項目	取組状況	目標値	実績値	評価
純異動数（転入-転出）	-	-22 (R2～6 平均)	-38	3 未達成（80% 未満）
移住・二地域居住問い合わせ件数	地方創生推進交付金を利用し、移住コーディネーターの配置により227件の移住希望相談を受けた。また、新型コロナウイルスの感染防止のため、オンラインを活用した情報発信に努めた結果、テレビ会議での移住相談やメールでの問い合わせも増加している。	250件 (R6)	227件	4 ほぼ達成 (80%～99%)
移住定住希望者現地検討会参加者数	緊急事態宣言の発令等により、移動制限がかけられ、感染防止からもイベント等の開催ができなかった。	40人 (R6)	0人	1 未実施・把握 できない
移住希望者短期滞在支援者数	新型コロナウイルスの感染状況により、首都圏からの短期滞在型の移住体験を実施することが困難であった。コロナ収束後に向けて、短期滞在住宅の確保を進めていく。	25人 (R6)	0人	1 未実施・把握 できない
空き家バンク相談件数	村内の空き家の把握、所有者へ空き家バンク登録等の連絡調整を行った。新型コロナウイルスの感染拡大により各種イベントへの出展、PRはできなかった。	40件 (R6)	14件	2 未達成（50% 未満）

片付け・リフォーム補助利用件数	空き家バンク登録物件所有者または利用者が登録物件に居住するための家財処分や改修等費用に対し、最大3/5、150万円の補助を行っている。今年度は、改修3件、家財撤去1件の利用があった。	3件 (R6)	4件	5 達成 (100%以上)
関係人口創出のための取り組み回数	新型コロナウイルス感染拡大から、関係人口との関係維持を主に情報発信等を実施した。	4回 (R6)	1回	3 未達成 (80%未満)
観光入込客数	天栄村観光協会と連携し、観光PR事業、天栄村サポーター事業、合宿誘致助成事業等を実施し、誘客促進に努めた。	380千人 (R6)	236千人	5 達成 (100%以上)
滞在型誘客促進事業	「合宿プラン」「同窓会プラン」「子育て家族プラン」「三世代家族プラン」「シニアプラン」として学生、本村出身者、子育て中の家族、高齢者団体等を対象に補助金を交付し、村内のキャンプ場やスキー場などの施設を活用した長期滞在型の誘客を促進し、交流人口の拡大を図ったが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、長期滞在型誘客が困難となった。	100件 (R6)	16件	2 未達成 (50%未満)

基本目標3 結婚・出産・子育て等サポート体制の充実

項目	取組状況	目標値	実績値	評価
合計特殊出生率 出生数	子育て支援に関する支援事業、補助事業の確立と実施。	1.3 (R2~R6平均)	0.97	3 未達成 (80%未満)
		195名 (R2~R6累計)	20名	
てんえい縁結び応援サポーターによる婚約数	縁結び応援サポーターが、地域の結婚希望の男女の出会いの創出により、婚約数の増加につなげる。 令和2年度は新型コロナウイルスの感染拡大により、活動に制限があった。	5組 (R2~6累計)	0組	2 未達成 (50%未満)
特定不妊治療費助成による妊娠成功件数	子どもを希望しながらも恵まれない夫婦に対し、特定不妊治療（体外受精及び顕微授精）に要する治療費の一部を助成することにより、経済的負担の軽減及び少子化対策の推進を図ることを目的に実施（年齢および所得制限なし）。	8件 (R2~R6累計)	2件	2 未達成 (50%未満)
周産期死亡数	母子手帳交付時の健康相談をはじめとして、妊産婦健康診査や妊産婦訪問などの実施により、妊娠早期から継続的に支援をしている。	0件 (R6)	0件	5 達成 (100%以上)
全国学力・学習状況調査 (問題全国平均正答率の比較)	県教育委員会が作成した「ふくしまの授業スタンダード」を基に主体的・対話的で深い学びが各校で展開されるとともに、「ふくしまの家庭学習スタンダード」による家庭学習への取組みの習慣化を推進した。 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、全国学力・学習状況調査は未実施だった。	全国平均を上回る (R6)	なし	1 未実施・把握できない
英検3級取得率（中学校卒業まで）	中学校卒業までに全員が英語検定3級以上を取得することを旨とし、英語検定の受講料を年間1人1回まで補助する。	30% (R6)	19.1%	3 未達成 (80%未満)
村外の大学生と地元住民との交流事業の開催	オンラインでの打ち合わせや大学生と湯本中学校の生徒が話し合える交流の場を設けた。併せて湯本の魅力をリモートを通じて発信し、それらの様子を文化祭にて放映することができた。	400名 (R2~R6累計)	76名	3 未達成 (80%未満)

基本目標4 暮らしやすい生活環境の形成

項目	取組状況	目標値	実績値	評価
”住みやすい”と答えた人の割合	令和元年9月に、村内在住の15歳以上65歳未満の方から無作為に抽出した500名を対象に実施しており、第2期総合戦略において様々な施策を展開し、計画期間の最終年度に村民アンケートを実施する。	72.5% (R6)	-	1 未実施・把握できない
郡山広域圏における連携の推進	人口減少・少子高齢化社会においても、活力ある地域経済を維持するとともに、圏域住民全体が将来も安心して快適な生活が送れる地域づくりを目指し、16市町村が連携し各種事業に取り組んでいく。 令和3年度に磐梯町が加入し、17市町村になる予定。	継続 (R2～R6)	継続	5 達成 (100%以上)
バス・タクシー利用券の利用件数	天栄村高齢者バス利用助成事業、天栄村高齢者等タクシー利用助成事業とともに、ホームページへの掲載やチラシの配布を行い利用の促進を図っている。	40件 (R6)	21件	3 未達成 (80%未満)
福祉車両貸出件数	福祉車両貸出事業として、村内に居住する自力で歩行が困難な高齢者や重度の身体障害者又は知的障害者等に対し、外出を支援するために福祉車両の貸出しを実施し、健康で生きがいのある長寿・福祉社会づくりを図る。	50件 (R6)	22件	2 未達成 (50%未満)
高齢者生きがい活動支援事業参加者数	高齢者の生きがいづくりを目的に、湯ったりミニデイサービス事業 (年6回)、水中ウォーキング事業 (年20回)、いきいきサロン事業 (年18回) を実施している。	300人 (R6)	180人	4 ほぼ達成 (80%～99%)
地域自主サロン数及び参加者数	地域コミュニティ及び健康増進、介護予防の推進のため、各地区又はグループによる茶話会に健康体操や栄養指導、口腔衛生指導を実施。	8か所 (R6)	4か所	4 ほぼ達成 (80%～99%)
生涯学習センター利用者数 体育施設利用者数	生涯学習センターについては、各種講座等主催事業の他、各種団体等への会議、活動への貸し出し利用、また、一般の方々等の図書室利用や中学生の下校時の待機場所として利用していただいている。 また、体育施設については天栄村総合農村運動広場の	92000人 (R6)	111237人	5 達成 (100%以上)
		39000人 (R6)	16937人	
ふるさとサポーター会員数	天栄村を支えていただける応援団「天栄村サポーター」を募集する。会員に、イベント等の案内を随時お知らせするとともに、特典付き会員パスポートを送付し来村を促進する。さらに、4,000円相当の村特産品及び商品紹介のチラシ等を送付し、新規顧客の開拓等の事業効果を図る。	550人 (R6)	553人	5 達成 (100%以上)

天栄村まち・ひと・しごと創生総合戦略事業評価シート(令和2年度)

基本目標		基本目標1 安定した雇用の確保と地域産業力の強化					
基本目標指標	企業立地や奨励金交付事業による村内新規雇用者数			目標値	15名 (R2～R6累計)	担当課 産業課	
事業経過	項目	年度	目標値	実績値	達成率	備考(実績の概要など)	
	基準値	R1		7名		(0社)	
	目標と実績	R2	15名		0名	0.0%	(0社)
		R3				0.0%	
		R4				0.0%	
		R5				0.0%	
		R6				0.0%	
合計		15名	0名	0.0%	(3社)		
主な事業の取組状況(D)	雇用促進奨励金は、工場の敷地面積3,000㎡以上、もしくは建築面積1,000㎡以上のいずれかに該当し、かつ操業開始時に村内に住所を有している雇用者が5人以上で、引き続き1年以上継続して雇用していることが交付要件であり、1回限り1人につき20万円で50人(1,000万円)まで限度である。 企業立地に向けて数社交渉を行ったが、令和2年度内の分譲とはならなかった。						
目標(KPI)達成分析(C)	評価	2 未達成(50%未満)		問題・課題等(C)	村内に住所を有する新規雇用者数が5人以上で継続して1年以上雇用という条件があることからのなかなか実現には至っていない状況。		
指標および目標値の評価(C)	評価	理由					
	4 現状維持						
今後の方針・改善策等(A)	積極的・継続的に企業誘致を進めるとともに、天栄村商工会等関係機関と連携しながら村内企業の支援を行い村内企業の雇用の創出、地域産業力の強化を図っていきたい。						

施策		1. 地域産業の活性化					
重要業績評価指標(KPI)	固定資産税課税免除実施数			目標値	15社 (R2～R6累計)	担当課 税務課	
事業経過	項目	年度	目標値	実績値	達成率	備考(実績の概要など)	
	基準値	R1		15社			
	目標と実績	R2	15社		5社	33.3%	
		R3				33.3%	
		R4				33.3%	
		R5				33.3%	
		R6				33.3%	
合計		15社	5社	33.3%			
主な事業の取組状況	東日本大震災復興特別区域法及び企業立地促進法に基づき、事業者が事業のための施設又は設備の新設又は増設を行った場合の固定資産税の課税免除をしている。						
目標(KPI)達成分析(C)	評価	2 未達成(50%未満)		問題・課題等(C)			
指標および目標値の評価(C)	評価	理由					
	2 指標の変更を検討	復興特区に係る減収補填については、令和3年3月31日までの施設及び設備の新増設までで終了となるため、指標の検討が必要と考える。					
今後の方針・改善策等(A)	復興特区に係る減収補填については、令和3年3月31日までの施設及び設備の新増設までで終了となるため、指標の変更が必要。						

重要業績評価指標 (KPI)	新たな交流の場の創出			目標値	1件	(R6)	担当課	産業課	
事業経過	項目	年度	目標値	実績値	達成率	備考(実績の概要など)			
	基準値	R1		-					
	目標と実績	R2	1件		0件	0.0%	第2期造成工事完了		
		R3				0.0%			
		R4				0.0%			
		R5				0.0%			
		R6				0.0%			
合計		1件	0件	0.0%					
主な事業の取組状況	道の駅の機能を拡充し、道の駅を拠点とした交流機会の創出と地域経済の活性化を図るため、各種交付金、補助金を活用し、村の魅力である自然環境と調和した「てんえいふるさと公園」の整備に取り組む。								
目標 (KPI) 達成分析 (C)	評価	問題・課題等 (C)	国の交付金、補助金を活用した造成工事と道の駅の建築工事の完成に向けた関係機関との連絡調整を早急に進める必要がある。						
指標および目標値の評価 (C)	評価	理由							
	4 現状維持								
今後の方針・改善策等 (A)	天栄村農林水産物直売施設整備検討委員会を設置し、施設整備の検討を進めるとともに、関係機関との連絡調整を行いながら、事業計画に沿った完成を目指し、道の駅を拠点とした交流機会の創出と地域経済の活性化を図る。								

天栄村まち・ひと・しごと創生総合戦略事業評価シート(令和2年度)

基本目標	基本目標1 安定した雇用の確保と地域産業力の強化					
施策	2. 持続可能な農林業の推進					
重要業績評価指標(KPI)	新規就農者数			目標値	8人 (R2～R6累計)	担当課 産業課
事業経過	項目	年度	目標値	実績値	達成率	備考(実績の概要など)
	基準値	H30	/	4人	/	
	目標と実績	R2	8人	1人	12.5%	
		R3		0.0%		
		R4		0.0%		
		R5		0.0%		
		R6		0.0%		
合計	8人	1人	12.5%			
主な事業の取組状況	長ネギ生産者1名が農業次世代人材投資事業補助金を活用し、認定新規就農者として認定され、支援している。					
目標(KPI)達成分析(C)	評価	問題・課題等(C)		理由		
	2 未達成(50%未満)					
指標および目標値の評価(C)	評価	理由				
	4 現状維持					
今後の方針・改善策等(A)	令和2年度については、1名のみであったため、事業の趣旨を明確にした制度の周知活動やJA、農業委員会と連携により、新たな人材発掘を行う。					

天栄村まち・ひと・しごと創生総合戦略事業評価シート(令和2年度)

基本目標	基本目標1 安定した雇用の確保と地域産業力の強化						
施策	3. 就労支援						
重要業績評価指標(KPI)	自立支援事業による相談、就労支援件数			目標値	相談 60件 就労支援 10件	(R2～R6累計) 担当課 住民福祉課	
事業経過 (相談)	項目	年度	目標値	実績値	達成率	備考(実績の概要など)	
	基準値	R1		44件			
	目標と実績	R2	60件		11件	18.3%	
		R3				18.3%	
		R4				18.3%	
		R5				18.3%	
		R6				18.3%	
		合計			60件	11件	18.3%
事業経過 (就労支援)	項目	年度	目標値	実績値	達成率	備考(実績の概要など)	
	基準値	R1		6件			
	目標と実績	R2	10件		6件	60.0%	
		R3				60.0%	
		R4				60.0%	
		R5				60.0%	
		R6				60.0%	
		合計			10件	6件	60.0%
主な事業の取組状況	平成27年4月に施行された生活困窮者自立支援法に基づく生活困窮者自立支援制度として、自立相談支援事業を実施。県から県社協への委託(本村担当窓口は県中・県南生活自立サポートセンター)。訪問支援(アウトリーチ)も含め、生活と就労に関する相談をワンストップ型窓口として機能している。						
目標(KPI)達成分析(C)	評価	問題・課題等(C)	理由				
	4 ほぼ達成(80%～99%)		相談から就労支援、就労に繋がっても、本人の状況により継続ができない場合も多いため、状況が深刻になる前の早い段階で相談・支援に入れるよう、住民への相談窓口の周知、発掘を行っていく必要がある。				
指標および目標値の評価(C)	評価	理由					
	4 現状維持	R2年度は、就労支援件数を伸ばすことができた。相談件数については、当初目標値の90%程度であるため、現状維持としたい。					
今後の方針・改善策等(A)	困窮世帯の発掘、早期介入が図れるよう相談窓口の周知及び各関係機関との連携を図る。						

天栄村まち・ひと・しごと創生総合戦略事業評価シート(令和2年度)

基本目標		基本目標2 天栄村への新しいひとの流れの創出					
基本目標指標	純異動数(転入-転出)			目標値	▲ 22 (R2~6平均)	担当課 住民福祉課	
事業経過	項目	年度	目標値	実績値	達成率	備考(実績の概要など)	
	基準値	R1		▲ 26		(H27~R1平均)	
	目標と実績	R2	▲ 22		▲ 38		転入157、転出195 現住人口調査より
		R3					
		R4					
		R5					
		R6					
合計		▲ 22	▲ 8	289.5%			
主な事業の取組状況(D)							
目標(KPI)達成分析(C)	評価	3 未達成(80%未満)		問題・課題等(C)			
指標および目標値の評価(C)	評価	理由					
	4 現状維持						
今後の方針・改善策等(A)							

施策		1. UIJターンの促進・関係人口の創出					
重要業績評価指標(KPI)	移住・二地域居住問い合わせ件数			目標値	250件 (R6)	担当課 企画政策課	
事業経過	項目	年度	目標値	実績値	達成率	備考(実績の概要など)	
	基準値	R1		238件			
	目標と実績	R2	240件		227件	94.6%	
		R3	240件			0.0%	
		R4	245件			0.0%	
		R5	250件			0.0%	
		R6	250件			0.0%	
合計							
主な事業の取組状況	地方創生推進交付金を利用し、移住コーディネーターの配置により227件の移住希望相談を受けた。また、新型コロナウイルスの感染防止のため、オンラインを活用した情報発信に努めた結果、テレビ会議での移住相談やメールでの問い合わせも増加している。						
目標(KPI)達成分析(C)	評価	4 ほぼ達成(80%~99%)		問題・課題等(C)	移住希望はあるが職や収入、住居、交通の便での不安が大きく、首都圏近郊の自然環境が良い場所(長野県、山梨県等)が選ばれる傾向にある。		
指標および目標値の評価(C)	評価	理由					
	4 現状維持	コロナ禍において、地方の魅力がクローズアップされてきていることから、問い合わせも多く寄せられている。新型コロナウイルスの感染終息を注視し、目標値を定めていく。					
今後の方針・改善策等(A)	コロナ禍において、どのような形で本村の魅力を最大限にPRできるか、様々な条件有利地との差別化を図れるよう魅力的な施策、支援策を検討する必要がある。						

重要業績評価指標 (KPI)	移住定住希望者現地検討会参加者数			目標値	40人	(R6)	担当課	企画政策課
事業経過	項目	年度	目標値	実績値	達成率	備考(実績の概要など)		
	基準値	R1		30人		(R1)		
	目標と実績	R2	30人	0人	0.0%			
		R3	30人		0.0%			
		R4	35人		0.0%			
		R5	35人		0.0%			
		R6	40人		0.0%			
合計	40人							
主な事業の取組状況	緊急事態宣言の発令等により、移動制限がかけられ、感染防止からもイベント等の開催ができなかった。							
目標 (KPI) 達成分析 (C)	評価	問題・課題等 (C)		新型コロナウイルス感染症の影響によりイベント等の開催ができなくなったため、今後の開催方法を検討する。				
指標および目標値の評価 (C)	評価	理由						
	3 数値の下方修正	新型コロナウイルスの感染収束が見込めないことから、開催手法、内容について検討する。						
今後の方針・改善策等 (A)	今後、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえた開催を検討していく。							

重要業績評価指標 (KPI)	移住希望者短期滞在支援者数			目標値	25人	(R6)	担当課	企画政策課
事業経過	項目	年度	目標値	実績値	達成率	備考(実績の概要など)		
	基準値	R1		21人				
	目標と実績	R2	20人	0人	0.0%			
		R3	22人		0.0%			
		R4	23人		0.0%			
		R5	24人		0.0%			
		R6	25人		0.0%			
合計	25人							
主な事業の取組状況	新型コロナウイルスの感染状況により、首都圏からの短期滞在型の移住体験を実施することが困難であった。コロナ収束後に向けて、短期滞在住宅の確保を進めていく。							
目標 (KPI) 達成分析 (C)	評価	問題・課題等 (C)		短期滞在住宅が確保できていないことから、体験宿泊ができない。また、新型コロナウイルスの感染状況により、短期滞在の実施が難しい。				
指標および目標値の評価 (C)	評価	理由						
	2 指標の変更を検討	新型コロナウイルスの感染状況により、指標の変更が必要。						
今後の方針・改善策等 (A)	コロナ収束後に利用できる新たな住宅の確保を進めていく。							

重要業績評価指標 (KPI)	空き家バンク相談件数			目標値	40件	(R6)	担当課	建設課
事業経過	項目	年度	目標値	実績値	達成率	備考(実績の概要など)		
	基準値	R1		17件				
	目標と実績	R2	35件	14件	35.0%	物件登録3、利用登録11、成約0		
		R3	35件		0.0%			
		R4	40件		0.0%			
		R5	40件		0.0%			
		R6	40件		0.0%			
合計	40件							
主な事業の取組状況	村内の空き家の把握、所有者へ空き家バンク登録等の連絡調整を行った。コロナウイルスの感染拡大により各種イベントへの出展、PRはできなかった。							
目標(KPI)達成分析(C)	評価	問題・課題等(C)		村内空き家数が多くないことや修繕を要する空き家が多く、利用登録者に紹介できる物件が少ない。				
指標および目標値の評価(C)	評価	理由						
	4 現状維持							
今後の方針・改善策等(A)	これまで同様「住める空き家・住みたくなる空き家」の整備を図るとともに、利活用が困難な空き家の解体を促し、新築のための土地利用の推進・検討を行う。							

重要業績評価指標 (KPI)	片付け・リフォーム補助利用件数			目標値	3件	(R6)	担当課	企画政策課
事業経過	項目	年度	目標値	実績値	達成率	備考(実績の概要など)		
	基準値	R1		3件				
	目標と実績	R2	3件	4件	133.3%			
		R3	3件		0.0%			
		R4	3件		0.0%			
		R5	3件		0.0%			
		R6	3件		0.0%			
合計	3件							
主な事業の取組状況	空き家バンク登録物件所有者または利用者が登録物件に居住するための家財処分や改修等費用に対し、最大3/5、150万円の補助を行っている。今年度は、改修3件、家財撤去1件の利用があった。							
目標(KPI)達成分析(C)	評価	問題・課題等(C)		賃貸のニーズが多い中で、比較的低廉な家賃設定や「空き家」という特性上、貸主の費用負担は難しい。また、「賃貸」という特性上、借主が費用負担することも難しく、利用が進まない。				
指標および目標値の評価(C)	評価	理由						
	4 現状維持							
今後の方針・改善策等(A)	これまで同様「住める空き家・住みたくなる空き家」の整備を図るとともに、利活用が困難な空き家の解体を促し、新築のための土地利用の推進・検討を行う。							

重要業績評価指標 (KPI)	関係人口創出のための取り組み回数		目標値	4回	(R6)	担当課	企画政策課
事業経過	項目	年度	目標値	実績値	達成率	備考(実績の概要など)	
	基準値	R1		2回			
	目標と実績	R2	2回	1回	50.0%		
		R3	2回		0.0%		
		R4	2回		0.0%		
		R5	3回		0.0%		
		R6	4回		0.0%		
		合計	4回				
主な事業の取組状況	新型コロナウイルス感染拡大から、関係人口との関係維持を主に情報発信等を実施した。						
目標(KPI)達成分析(C)	評価	問題・課題等(C)					
	3 未達成(80%未満)						
指標および目標値の評価(C)	評価	理由					
	4 現状維持						
今後の方針・改善策等(A)	新型コロナ収束後における関係人口の創出を進めるため、本村と関係を持つ方々との関係維持を主に情報発信を進めていく。						

天栄村まち・ひと・しごと創生総合戦略事業評価シート(令和2年度)

基本目標	基本目標2 天栄村への新しいひとの流れの創出							
施策	2. 観光・交流の促進							
重要業績評価指標(KPI)	観光入込客数			目標値	380千人	(R6)	担当課	産業課
事業経過	項目	年度	目標値	実績値	達成率	備考(実績の概要など)		
	基準値	H30		309千人				
	目標と実績	R2		220千人	236千人	107.3%		
		R3		260千人		0.0%		
		R4		300千人		0.0%		
		R5		380千人		0.0%		
		R6		236千人		0.0%		
合計		380千人						
主な事業の取組状況	天栄村観光協会と連携し、観光PR事業、天栄村サポーター事業、合宿誘致助成事業等を実施し、誘客促進に努めた。							
目標(KPI)達成分析(C)	評価	問題・課題等(C)		目標値を達成したものの、東日本大震災及び東京電力福島第一原子力発電所事故の風評被害が残る中、新型コロナウイルスの感染拡大により、宿泊者数や観光客が減少し、観光産業に甚大な影響を与えている。				
指標および目標値の評価(C)	評価	理由						
	4 現状維持							
今後の方針・改善策等(A)	観光産業の状況や新型コロナウイルスの感染状況を見極めながら、現在及びアフターコロナの観光客の増加につながる各誘客事業を推進していく。							

重要業績評価指標(KPI)	滞在型誘客促進事業			目標値	100件	(R6)	担当課	産業課
事業経過	項目	年度	目標値	実績値	達成率	備考(実績の概要など)		
	基準値	H30		97件				
	目標と実績	R2		100件	16件	16.0%	延べ200人	
		R3		100件		0.0%		
		R4		100件		0.0%		
		R5		100件		0.0%		
		R6		100件		0.0%		
合計		100件	16件	16.0%				
主な事業の取組状況	「合宿プラン」「同窓会プラン」「子育て家族プラン」「三世家族プラン」「シニアプラン」として学生、本村出身者、子育て中の家族、高齢者団体等を対象に補助金を交付し、村内のキャンプ場やスキー場などの施設を活用した長期滞在型の誘客を促進し、交流人口の拡大を図ったが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、長期滞在型誘客が困難となった。							
目標(KPI)達成分析(C)	評価	問題・課題等(C)		新型コロナウイルス感染症の影響により、長期滞在型の誘客が困難となった。				
指標および目標値の評価(C)	評価	理由						
	2 指標の変更を検討	新型コロナウイルス感染症の影響により、長期滞在型の誘客が困難となったため、事業の見直しが必要となった。						
今後の方針・改善策等(A)	事業見直しにより、本事業は令和2年度で終了となった。							

天栄村まち・ひと・しごと創生総合戦略事業評価シート(令和2年度)

基本目標	基本目標3 結婚・出産・子育て等サポート体制の充実						
施策	1. 結婚希望の実現						
基本目標指標	合計特殊出生率 出生数			目標値	1.30 (R2～R6平均) 195人 (R2～R6累計)	担当課 住民福祉課	
事業経過 (合計特殊出生率)	項目	年度	目標値	実績値	達成率	備考(実績の概要など)	
	基準値	R1		1.19		(H27～R1平均)	
	目標と実績	R2		1.30	0.97	74.6%	
		R3		1.30		37.3%	
		R4		1.30		24.9%	
		R5		1.30		18.7%	
		R6		1.30		14.9%	
合計		1.30	0.24	18.7%			
事業経過 (出生数)	項目	年度	目標値	実績値	達成率	備考(実績の概要など)	
	基準値	R1		189人		(H27～R1累計)	
	目標と実績	R2		195人	20人	10.3%	
		R3		195人		10.3%	
		R4		195人		10.3%	
		R5		195人		10.3%	
		R6		195人		10.3%	
合計		195人	20人	10.3%			
主な事業の取組状況(D)	子育て支援に関する支援事業、補助事業の確立と実施。						
目標(KPI)達成分析(C)	評価	3 未達成(80%未満)	問題・課題等(C)	子育て支援制度と共に、親が安心して生活できる基盤作りと仕事の安定。子育てとの連動性が必要。			
指標および目標値の評価(C)	評価	4 現状維持	理由 子育て支援については、一過性のもではなく、中長期的な成果を目的としている。				
今後の方針・改善策等(A)	継続的な取り組みの実施が必要。						

重要業績評価指標(KPI)	てんえい縁結び応援サポーターによる婚約数			目標値	5組 (R2～6累計)	担当課 企画政策課	
事業経過	項目	年度	目標値	実績値	達成率	備考(実績の概要など)	
	基準値	R1		0組			
	目標と実績	R2		5組	0組	0.0%	
		R3		5組		0.0%	
		R4		5組		0.0%	
		R5		5組		0.0%	
		R6		5組		0.0%	
合計		5組	0組	0.0%			
主な事業の取組状況	縁結び応援サポーターが、地域の結婚希望の男女の出会いの創出により、婚約数の増加につなげる。令和2年度は新型コロナウイルスの感染拡大により、活動に制限があった。						
目標(KPI)達成分析(C)	評価	2 未達成(50%未満)	問題・課題等(C)	新型コロナウイルスの感染拡大のため、縁結びサポーターの活動も制限され、思うような活動ができなかった。			
指標および目標値の評価(C)	評価	4 現状維持	理由 新型コロナウイルス終息後に、取組みを進めるため。				
今後の方針・改善策等(A)	継続的な取り組みの実施が必要。						

天栄村まち・ひと・しごと創生総合戦略事業評価シート(令和2年度)

基本目標	基本目標3 結婚・出産・子育て等サポート体制の充実						
施策	2. 出産・子育て支援						
重要業績評価指標(KPI)	特定不妊治療費助成による妊娠成功件数		目標値	8件	(R2～R6累計)	担当課 住民福祉課	
事業経過	項目	年度	目標値	実績値	達成率	備考(実績の概要など)	
	基準値	R1		7件		(H27～R1累計)	
	目標と実績	R2	8件		2件	25.0%	
		R3				25.0%	
		R4				25.0%	
		R5				25.0%	
		R6				25.0%	
合計		8件	2件	25.0%			
主な事業の取組状況	子どもを希望しながらも恵まれない夫婦に対し、特定不妊治療(体外受精及び顕微授精)に要する治療費の一部を助成することにより、経済的負担の軽減及び少子化対策の推進を図ることを目的に実施(年齢および所得制限なし)。						
目標(KPI)達成分析(C)	評価	2 未達成(50%未満)	問題・課題等(C)	妊娠・出産に至らなかった場合の精神的支援が必要。			
指標および目標値の評価(C)	評価	理由					
	4 現状維持						
今後の方針・改善策等(A)	今後は、特定不妊治療だけでなく、一般不妊治療や男性不妊治療、不育症への経済的援助も要検討する。						

重要業績評価指標(KPI)	周産期死亡数			目標値	0件	(R6)	担当課 住民福祉課	
事業経過	項目	年度	目標値	実績値	達成率	備考(実績の概要など)		
	基準値	R1		-				
	目標と実績	R2		0件	0件			
		R3		0件				
		R4		0件				
		R5		0件				
		R6		0件				
合計								
主な事業の取組状況	母子手帳交付時の健康相談をはじめとして、妊産婦健康診査や妊産婦訪問などの実施により、妊娠早期から継続的に支援をしている。							
目標(KPI)達成分析(C)	評価	5 達成(100%以上)	問題・課題等(C)					
指標および目標値の評価(C)	評価	理由						
	4 現状維持							
今後の方針・改善策等(A)	今後も継続して、切れ目ない支援を継続。							

天栄村まち・ひと・しごと創生総合戦略事業評価シート(令和2年度)

基本目標	基本目標3 結婚・出産・子育て等サポート体制の充実						
施策	3. 特色ある学びの場の形成						
重要業績評価指標(KPI)	全国学力・学習状況調査 (問題全国平均正答率の比較)			目標値	全国平均を上回る (R6)	担当課 教育課	
事業経過	項目	年度	目標値	実績値	達成率	備考(実績の概要など)	
	基準値	R1	/	全国平均と同程度	/	村内小・中学校全国学力検査結果	
	目標と実績	R2	全国平均を上回る	なし			R2は全国学力・学習状況調査なし
		R3	全国平均を上回る				
		R4	全国平均を上回る				
		R5	全国平均を上回る				
		R6	全国平均を上回る				
		合計					
主な事業の取組状況	県教育委員会が作成した「ふくしまの授業スタンダード」を基に主体的・対話的で深い学びが各校で展開されるとともに、「ふくしまの家庭学習スタンダード」による家庭学習への取組みの習慣化を推進した。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、全国学力・学習状況調査は未実施だった。						
目標(KPI)達成分析(C)	評価	問題・課題等(C)		令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、全国学力・学習状況調査は未実施。			
指標および目標値の評価(C)	評価	理由					
	4 現状維持	前年度までの達成率からみて、目標値は適正であると考える。					
今後の方針・改善策等(A)	「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け授業の改善を図り子どもたちの学習意欲を喚起するとともに、家庭学習の習慣化を推進し、確かな学力の定着を図っていく。						

重要業績評価指標(KPI)	英検3級取得率(中学校卒業まで)			目標値	30.0% (R6)	担当課 教育課	
事業経過	項目	年度	目標値	実績値	達成率	備考(実績の概要など)	
	基準値	R1	/	12.0%	/	3級以上取得生徒/村立中学生	
	目標と実績	R2	30.0%	19.1%	63.7%		26名/136名
		R3	30.0%		0		
		R4	30.0%		0		
		R5	30.0%		0		
		R6	30.0%		0		
		合計					
主な事業の取組状況	中学校卒業までに全員が英語検定3級以上を取得することを目指し、英語検定の受講料を年間で1人1回まで補助する。						
目標(KPI)達成分析(C)	評価	問題・課題等(C)		英語検定3級は、中学校卒業レベル相当であることから、卒業までに全員が取得することを目指しているが、全国の中学生の英語検定3級相当以上の取得者の割合が25.1%であることから、全員の取得は難しい。			
指標および目標値の評価(C)	評価	理由					
	4 現状維持	全国の中学校における英語検定3級相当以上を取得している生徒の割合が25.1%であることを鑑みると、現在の達成率からみても目標値は適正であると考える。					
今後の方針・改善策等(A)	村内の中学生のほぼ全員が英語検定を受検しており、英語学習意欲の向上に繋がっている。英語検定3級は中学校卒業レベル相当であることから、事業方針・内容については現状維持とし、他の英語教育関連事業の効果的な実施とあわせ、引き続き支援していく必要がある。						

天栄村まち・ひと・しごと創生総合戦略事業評価シート(令和2年度)

基本目標	基本目標3 結婚・出産・子育て等サポート体制の充実					
施策	4. 若者求心力の創出					
重要業績評価指標(KPI)	村外の大学生と地元住民との交流事業の開催		目標値	400人	(R2～R6累計)	担当課 湯本支所
事業経過	項目	年度	目標値	実績値	達成率	備考(実績の概要など)
	基準値	R1		-		
	目標と実績	R2	100名	76名	76.0%	オンラインでの事業展開を実施
		R3	200名		0.0%	
		R4	300名		0.0%	
		R5	400名		0.0%	
		R6	400名		0.0%	
合計						
主な事業の取組状況	オンラインでの打ち合わせや大学生と湯本中学校の生徒が話し合える交流の場を設けた。併せて湯本の魅力をリモートを通じて発信し、それらの様子を文化祭にて放映することができた。					
目標(KPI)達成分析(C)	評価	問題・課題等(C)		オンラインでの交流には限りがあると感じた。今後も新たな事業展開できるよう検討したい。		
指標および目標値の評価(C)	評価	理由				
	4 現状維持	若者の流出やふるさとへの愛着等を図るためにも実現に向かって努力したい。				
今後の方針・改善策等(A)	都市部との交流及び地域の方々の生きがいづくり、若者の村外流出防止、故郷への愛着等図るためにも引き続き事業展開を図っていきたい。					

天栄村まち・ひと・しごと創生総合戦略事業評価シート(令和2年度)

基本目標		基本目標4 暮らしやすい生活環境の形成						
基本目標指標	”住みやすい”と答えた人の割合			目標値	72.5%	(R6)	担当課	企画政策課
事業経過	項目	年度	目標値	実績値	達成率	備考(実績の概要など)		
	基準値	R1		52.3%				
	目標と実績	R2		-				
		R3		-				
		R4		-				
		R5		-				
		R6		72.5%		0.0%		
合計								
主な事業の取組状況(D)	令和元年9月に、村内在住の15歳以上65歳未満の方から無作為に抽出した500名を対象に実施しており、第2期総合戦略において様々な施策を展開し、計画期間の最終年度に村民アンケートを実施する。							
目標(KPI)達成分析(C)	評価		1 未実施・把握できない		問題・課題等(C)			
指標および目標値の評価(C)	評価		理由					
	4 現状維持							
今後の方針・改善策等(A)	第2期総合戦略において、住みやすいと思われるよう各種施策を講じ、R6年度に成美アンケートを実施していく。							

施策		1. 地域連携による経済・生活圏の形成							
重要業績評価指標(KPI)	郡山広域圏における連携の推進			目標値	継続	(R2~R6)	担当課	企画政策課	
事業経過	項目	年度	目標値	実績値	達成率	備考(実績の概要など)			
	基準値	R1		継続		都市圏ビジョン改訂			
	目標と実績	R2			継続		連携協約の一部変更・PR映像制作		
		R3							
		R4		継続					
		R5							
		R6							
合計									
主な事業の取組状況	人口減少・少子高齢化社会においても、活力ある地域経済を維持するとともに、圏域住民全体が将来も安心して快適な生活が送れる地域づくりを目指し、16市町村が連携し各種事業に取り組んでいく。令和3年度に磐梯町が加入し、17市町村になる予定。								
目標(KPI)達成分析(C)	評価		5 達成(100%以上)		問題・課題等(C)				
指標および目標値の評価(C)	評価		理由						
	4 現状維持								
今後の方針・改善策等(A)	郡山市を中心として各種連携事業に取り組んでいく。								

天栄村まち・ひと・しごと創生総合戦略事業評価シート(令和2年度)

基本目標	基本目標4 暮らしやすい生活環境の形成							
施策	2. 誰もが暮らしやすい生活環境づくり							
重要業績評価指標(KPI)	バス・タクシー利用券の利用件数			目標値	40件	(R6)	担当課	企画政策課
事業経過	項目	年度	目標値	実績値	達成率	備考(実績の概要など)		
	基準値	R1		22件		バス17件、タクシー5件		
	目標と実績	R2	30件	21件	70.0%	バス15件、タクシー6件		
		R3	30件		0.0%			
		R4	30件		0.0%			
		R5	30件		0.0%			
		R6	40件		0.0%			
		合計						
主な事業の取組状況	天栄村高齢者バス利用助成事業、天栄村高齢者等タクシー利用助成事業ともに、ホームページへの掲載やチラシの配布を行い利用の促進を図っている。							
目標(KPI)達成分析(C)	評価		問題・課題等(C)	新規利用者の減少				
3 未達成(80%未満)								
指標および目標値の評価(C)	評価		理由					
	4 現状維持		H29年の32件をピークに利用者が減少しているが、今後も需要が見込まれることから現状維持とする。					
今後の方針・改善策等(A)	高齢者、免許返納者に対する公共交通確保の観点から継続して支援を行っていく。							

重要業績評価指標(KPI)	福祉車両貸出件数			目標値	50件	(R6)	担当課	住民福祉課
事業経過	項目	年度	目標値	実績値	達成率	備考(実績の概要など)		
	基準値	R1		25件				
	目標と実績	R2	30件	22件	73.3%	実利用人数5人		
		R3	35件		0.0%			
		R4	40件		0.0%			
		R5	45件		0.0%			
		R6	50件		0.0%			
		合計						
主な事業の取組状況	福祉車両貸出事業として、村内に居住する自力で歩行が困難な高齢者や重度の身体障害者又は知的障害者等に対し、外出を支援するために福祉車両の貸出しを実施し、健康で生きがいのある長寿・福祉社会づくりを図る。							
目標(KPI)達成分析(C)	評価		問題・課題等(C)	事業の周知				
2 未達成(50%未満)								
指標および目標値の評価(C)	評価		理由					
	4 現状維持		往診等の充実により利用件数は伸び悩んでいるが、周知等により今後の需要が見込まれることから現状維持とする。					
今後の方針・改善策等(A)	広報活動や地域包括支援センター・ケアマネージャーへの周知活動を重点的に実施し、事業の浸透を目指す必要がある。							

重要業績評価指標 (KPI)	高齢者生きがい活動支援事業参加者数			目標値	300人	(R6)	担当課	住民福祉課
事業経過	項目	年度	目標値	実績値	達成率	備考(実績の概要など)		
	基準値	R1		250人				
	目標と実績	R2	200人	180人	90.0%			
		R3	200人		0.0%			
		R4	250人		0.0%			
		R5	250人		0.0%			
		R6	300人		0.0%			
合計								
主な事業の取組状況	高齢者の生きがいづくりを目的に、湯ったりミニデイサービス事業(年6回)、水中ウォーキング事業(年20回)、いきいきサロン事業(年18回)を実施している。							
目標(KPI)達成分析(C)	評価	4 ほぼ達成(80%~99%)		問題・課題等(C)	参加者が固定してしまっており、なかなか外に出たがらない消極的な高齢者の掘り起こしが難しい。			
指標および目標値の評価(C)	評価	理由						
	4 現状維持	コロナ禍により事業参加者が減少しているところではあるが、今後さらに需要、必要性が見込まれるため現状維持とする。						
今後の方針・改善策等(A)	各種事業の実施形態の工夫を模索し、あらゆる状況に対応できる事業展開を図り、参加者数の増加を目指す。							

重要業績評価指標 (KPI)	地域自主サロン数及び参加者数			目標値	8か所	(R6)	担当課	住民福祉課
事業経過	項目	年度	目標値	実績値	達成率	備考(実績の概要など)		
	基準値	R1		4か所		参加者数50人		
	目標と実績	R2	5か所	4か所	80.0%			
		R3	6か所		0.0%			
		R4	7か所		0.0%			
		R5	8か所		0.0%			
		R6	8か所		0.0%			
合計								
主な事業の取組状況	地域コミュニティ及び健康増進、介護予防の推進のため、各地区又はグループによる茶話会に健康体操や栄養指導、口腔衛生指導を実施。							
目標(KPI)達成分析(C)	評価	4 ほぼ達成(80%~99%)		問題・課題等(C)	各地区におけるリーダー等の人材不足			
指標および目標値の評価(C)	評価	理由						
	4 現状維持	歩いて行ける距離での介護予防、仲間づくりの場として今後も必要性があるため。						
今後の方針・改善策等(A)	ボランティア養成講座等により各地域におけるリーダーを育成し、新規自主サロンの立ち上げを目指す。							

天栄村まち・ひと・しごと創生総合戦略事業評価シート(令和2年度)

基本目標	基本目標4 暮らしやすい生活環境の形成							
施策	3. 既存施設の利活用							
重要業績評価指標(KPI)	生涯学習センター利用者数 体育施設利用者数			目標値	92,000人 (R6) 39,000人 (R6)	担当課	教育課	
事業経過 (生涯学習センター利用者数)	項目	年度	目標値	実績値	達成率	備考(実績の概要など)		
	基準値	R1		76,776人				
	目標と実績	R2	80,000人	111,237人	139.0%			
		R3	83,000人		0.0%			
		R4	86,000人		0.0%			
		R5	89,000人		0.0%			
		R6	92,000人		0.0%			
		合計						
事業経過 (体育施設利用者数)	項目	年度	目標値	実績値	達成率	備考(実績の概要など)		
	基準値	R1		34,656人				
	目標と実績	R2			16,937人		新型コロナウイルス感染症防止策により利用停止の期間があった。	
		R3						
		R4						
		R5						
		R6	39,000人			0.0%		
		合計						
主な事業の取組状況	<p>生涯学習センターについては、各種講座等主催事業の他、各種団体等への会議、活動への貸し出し利用、また、一般の方々等の図書室利用や中学生の下校時の待機場所として利用いただいている。</p> <p>また、体育施設については天栄村総合農村運動広場のほか3施設を村主催業行事の他、村内外の個人、団体及び中学校の部活動等に貸し出し、利用いただいている。</p>							
目標(KPI)達成分析(C)	評価	5 達成(100%以上)	問題・課題等(C)	新型コロナウイルス感染症防止策として感染状況により施設の利用停止の措置をとったため、利用人数が減少した。				
指標および目標値の評価(C)	評価	4 現状維持	理由 現在の利用状況は、施設によっては飽和状態のため、これ以上大幅な利用者の増加は難しい。					
今後の方針・改善策等(A)	生涯学習センターにおいては、今後とも教育関係者の会議や社会教育団体等に貸し出していく。体育施設については各種大会等での利用を積極的に受け入れていく。また、村民の文化活動やスポーツ等を行う場の整備に努めていく。							

天栄村まち・ひと・しごと創生総合戦略事業評価シート(令和2年度)

基本目標	基本目標4 暮らしやすい生活環境の形成					
施策	4. 消費喚起の拡充					
重要業績評価指標(KPI)	ふるさとサポーター会員数		目標値	550名	(R6)	担当課 産業課
事業経過	項目	年度	目標値	実績値	達成率	備考(実績の概要など)
	基準値	R1		514名		
	目標と実績	R2	550名	553名	100.5%	
		R3	550名		0.0%	
		R4	550名		0.0%	
		R5	550名		0.0%	
		R6	550名		0.0%	
合計						
主な事業の取組状況	天栄村を支えていただける応援団「天栄村サポーター」を募集する。会員に、イベント等の案内を随時お知らせするとともに、特典付き会員パスポートを送付し来村を促進する。さらに、4,000円相当の村特産品及び商品紹介のチラシ等を送付し、新規顧客の開拓等の事業効果を図る。					
目標(KPI)達成分析(C)	評価 5 達成(100%以上)	問題・課題等(C)	サポーター会員の来村が少ないため、観光客誘客促進のためにも、サポーター会員の来村を促すような取り組みを実施することが課題である。			
指標および目標値の評価(C)	評価	理由				
	4 現状維持					
今後の方針・改善策等(A)	会員の来村を促進する企画の検討を行うとともに、引き続き新規会員の増加を図る。					